

散布日	散布時期	散布薬剤（水 100ℓ当り）	収穫前 使用 時期	使用 回数 （以内）	散布量 （ℓ）	対象病害虫	注 意 事 項
月 日	第 1 回 3 月中下旬 発芽前	（水 88ℓ） スプレーオイル *① 2ℓ 石灰硫黄合剤 *② 10ℓ	発芽前 休眠期	— —	300	腐らん病 ハダニ類 カイガラムシ類	① 混用順：スプレーオイルに石灰硫黄合剤を加用する。 ② 石灰硫黄合剤に代えてペフラン液剤 25 の 1000 倍（休眠期、6 回以内。ただし開花期以降は 3 回）を使用してもよい。 混用順：ペフラン液剤 25 にスプレーオイルを加用する。
月 日	第 2 回 4 月上中旬 （展葉後）	展着剤 *① 10mℓ ユニックス顆粒水和剤 47 100g	14 日前	4 回	350	黒星病 うどんこ病	① うどんこ病対策 4 月中旬（発芽 10 日後）にコロナフロアブル 400 倍を特別散布する。
月 日	第 3 回 5 月初旬 （開花期）	展着剤 *① 10mℓ トレノックスフロアブル 200mℓ サムコルフロアブル10 20mℓ スコア顆粒水和剤 33g	30 日前 前日 14 日前	5 回 3 回 3 回	400	黒星病・黒点病 うどんこ病 ケムシ類、ハマキムシ類	① アブラムシ類対策 早期発生が見られる場合は、ウララDF2000 倍（14 日前、2 回）を加用する。
月 日	第 4 回 5 月中旬 （落花後） （前回より 10 日後）	展着剤 10mℓ スコア MZ 水和剤 200g	30 日前	3 回	500	黒星病、黒点病 うどんこ病、赤星病	① 5 月末までは、生理落果助長回避のため、有機リン剤は使用しない。 ② ケムシ類対策 フェニックスフロアブル 4000 倍（前日、2 回）を加用する。
月 日	第 5 回 5 月下旬 （前回より 10 日後）	展着剤 10mℓ ユニックス顆粒水和剤 47 50g コルト顆粒水和剤 *② 25g	14 日前 前日	4 回 3 回	500	黒星病、黒点病 うどんこ病、赤星病 アブラムシ類 カイガラムシ類	① コルト顆粒水和剤に代えて、モスピラン顆粒水溶剤 4000 倍（前日、3 回）でもよい。
月 日	第 6 回 6 月上旬 （前回より 15 日後）	展着剤 *①、② 10mℓ アントラコール顆粒水和剤 200g ダーズバンDF 33g	45 日前 45 日前	4 回 1 回	600	黒星病、黒点病 斑点落葉病、褐斑病、炭そ病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 クワコナカイガラムシ リンゴワタムシ	① カイガラムシ類対策 アブロードフロアブル 1000 倍（30 日前、2 回）を加用する。 ② 枝腐らん病対策 トップジン M 水和剤 1,000 倍（前日、6 回）を加用する。
月 日	第 7 回 6 月中下旬 （前回より 15 日後）	展着剤 10mℓ シトラノフロアブル *① 100mℓ スプラサイド水和剤 66g	45 日前 30 日前	3 回 2 回	600	炭そ病、輪紋病 斑点落葉病、褐斑病 ナシヒメシンクイ、モモシンクイガ ハマキムシ類、リンゴワタムシ クワコナカイガラムシ、カメムシ類	① シトラノフロアブルに代えて、オキシラン水和剤 500 倍（14 日前、4 回）でもよい。
月 日	第 8 回 7 月上旬 （前回より 15 日後）	展着剤 *① 10mℓ バイスロイドEW 50mℓ ナリア WDG *③ 50g	7 日前 前日	4 回 3 回	600	炭そ病、輪紋病 斑点落葉病、褐斑病 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	① 褐斑病対策：トップジン M 水和剤 1500 倍（前日、6 回）を加用する。 ② 輪紋病対策：ICボルドー412 の 33 倍を 7 月初旬に特別散布する。ただし、早生種にはボルドー液は使用しない。 ③ ナリア WDG は、ピオーネ、サニールージュに薬害を生じる恐れがあるので飛散しないようにする。
／	特別散布 7 月中旬	展着剤 10mℓ オーソサイド水和剤 80 125g	14 日前	6 回	600	輪紋病、炭そ病 斑点落葉病、褐斑病	① 散布時期は前回より 7～10 日後を目安とする。 ② 通常展着剤に代えて、固着性展着剤のアビオン E の 1000 倍を使用すると薬液付着効果が高まる。
月 日	第 9 回 7 月中下旬 （前回より 15 日後）	展着剤 *① 10mℓ ダニコングフロアブル 50mℓ オリオン水和剤 40 100g オキシラン水和剤 200g	前日 前日 14 日前	1 回 2 回 4 回	600	輪紋病、炭そ病 斑点落葉病、褐斑病 ハダニ類 シンクイムシ類、ハマキムシ類 カイガラムシ類	① 通常展着剤に代えてササラ 2000 倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きも早くなる効果がある。
月 日	第 10 回 8 月上旬 （前回より 15 日後）	展着剤 *① 10mℓ コロマイト乳剤 100mℓ エクシレル SE 20mℓ ダイパワー水和剤 100g	前日 前日 14 日前	1 回 3 回 3 回	600	輪紋病、炭そ病 褐斑病、斑点落葉病 ハダニ類 シンクイムシ類 ハマキムシ類 キンモンホソガ	① 通常展着剤に代えてササラ 2000 倍を使用すると薬液の広がりがよくなり、散布後の乾きも早くなる効果がある。 ② ダニコングフロアブルに代えて、スターマイトフロアブル 2000 倍（前日、1 回）でもよい。
／	特別散布 8 月中旬	展着剤 10mℓ バリアード顆粒水和剤 50g	前日	3 回	600	シンクイムシ類 カメムシ類 キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ	① 散布時期は前回より 7～10 日後を目安とする。
月 日	第 11 回 8 月中下旬 （前回より 15 日後）	展着剤 10mℓ プリントフロアブル25 50mℓ イカズチWDG 66g オマイト水和剤 *① 133g	前日 前日 3 日前	4 回 2 回 1 回	600	輪紋病、炭そ病、斑点落葉病 褐斑病、すす点病、すす斑病 ハダニ類 シンクイムシ類、ハマキムシ類 キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ	① オマイト水和剤はナシ類に登録が無いので、飛散しないように注意する。
月 日	第 12 回 9 月上旬 （前回より 15 日後）	展着剤 10mℓ ストライド顆粒水和剤 *① 66g ダントツ水溶剤 50g	前日 前日	3 回 3 回	600	炭そ病、斑点落葉病、褐斑病 すす点病、すす斑病 シンクイムシ類、カメムシ類 キンモンホソガ、ギンモンハモグリガ コナカイガラムシ類、リンゴワタムシ	① ストライド顆粒水和剤は、高温時に散布すると薬害が生じる恐れがあるので注意する。
月 日	第 13 回 9 月中下旬 （前回より 15 日後）	展着剤 10mℓ フルーツセイバー 50mℓ ディアナ WDG 10g	前日 前日	3 回 2 回	600	すす点病、すす斑病 斑点落葉病、褐斑病 シンクイムシ類 キンモンホソガ	① 10 月上旬の特別散布 ストライド顆粒水和剤 1500 倍（前日、3 回）又はペフラン液剤 2000 倍（前日、2 回）を散布する。

◆ 安全・安心な農産物生産のために、防除・使用基準を厳守しましょう。